

YATOかわら版

500年の
COMMONを
考える



YATO

第7号 2022年2月

発行

YATOプロジェクト事務局

東京都町田市忠生2-5-3

<https://yato500.net>

忠生のはなし

遊び

話を聞いた人・

鈴木幸夫さん (73歳)

長澤善夫さん (72歳)

牧野仁さん (72歳)

鈴木「俺たちが子供の頃は、学校から帰ってきてても両親は畑仕事で忙しいし、かまってくれないし、すぐ遊びに行ってたな。まだまだ畑手伝うには早いしよ」

牧野「ゲームとかそんなのがなかったから、外で遊ぶしかなかったんだよな」

長澤「築田寺の庭でね、よくまあ野球まがいのことをやってた。手ベースなんていって、ボールを手で打ったりしてね」

鈴木「三角ベースでね」

長澤「そう、人数がないから、ベースは

四角じゃなくて、三角ベースで。野球と同じルールで」

牧野「あと、俺ら田んぼで竹バットで遊んだよな」

鈴木「うん、稲を刈った後の田んぼでね」

牧野「ゴルフクラブもつくったな」

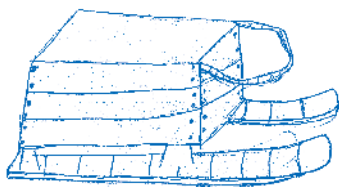
鈴木「桑の木でつくってね」

長澤「雪が降った時は、ソリをつくったね」

鈴木「うん、俺もソリはつくった」

長澤「その辺にある木を自分で箱型にして。竹を切って、炙ってきゅっと曲げて、箱の下につけて。自分で乗りやすいように。竹が太いといいんじゃないかって太い竹でやると、滑んなかったり」

牧野「今でいうボブスレーだよな(笑)」



「YATO」プロジェクトは、谷状の地形から「谷戸」とよばれる、忠生周辺地域のことを学び、500年先に生きる人たちにどう伝えていくかを考えるプロジェクトです。

鈴木「あと、俺たちはあんま喧嘩しなかったよなあ」

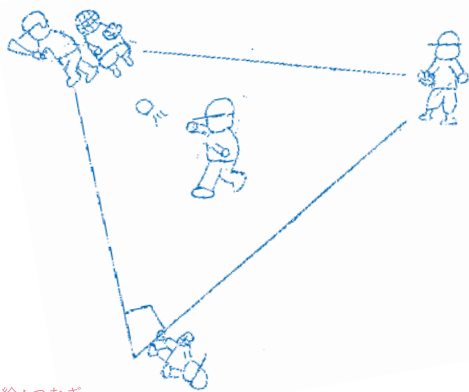
長澤「みんながそれぞれリーダーだった。だから仲間外れとか、そういうのはなかったよな」

鈴木「いじめもなかったな」

長澤「結局、親がすごかった。我々が喧嘩するとね、親がね、怒ってすごい」

牧野「ああ、怒ってきたな、うちの家も(笑)」

長澤「だからね、子供は悪いことはできなかったよな」



絵：つむぎ

わさむせふろう

しゃしんぶん はたのしゅうへい
写真・文：波田野州平



されているものにくつか出会いまし
た。かわりに僕が「ごめんなさい」と
謝って、紐を解いてあげたくります。
さあみんな、これからもうろうろして、
わきめをふろう！



じつとしなさい

この5年間、わ

きめをふりながら

ただおしゅうへん ある

忠生周辺を歩いて

きました。その途

中で「うろうろし

てないでじつとし

なさい！」と、動

かないように固定

しました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

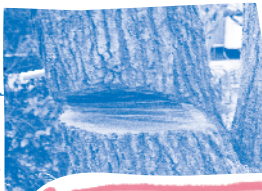
ました。

ました。

ました。

ました。

プロジェクトレポート 日記



木を切るには、こんなに
時間がかかるんだ



この木を使って、木の机が
できたらしいな



古くから人が定期的に手を入れるこ
とで、環境を保ってきた里山。先日、
環境教育コーディネーターの小出仁志
さんを先生に招き、築田寺の山で、木
の間伐を体験するワークショップをし
ました。

やとつ子同盟

ライブインスタレーション「YATOのひかり」
トーク「YATOのこれまで、これから」
開催日程：2022年3月19日(土)
17時～19時30分
ライブ配信：YATO公式YouTubeチャンネル
「YATO500」

ただいま、町田周辺に暮らす、小学生チ
ーム「やとつ子同盟」。アーティスト
や年長者といろんなものをつくりなが
ら、忠生の歴史や文化に触れる、遊び
と学びの場です。
3月19日(土)は、昔の16ミリフィ
ルムカメラで、谷戸の自然やこれまで
のYATOの活動を撮影した映像を上
映します。その場で音楽家たちが、映
像に合わせて音楽も演奏します。その
様子をオンラインで公開するから、ぜ
ひチェックしてね。